

一般質問

市民の声を市政に

※ 各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧いただくことができます。

※ 栗原信司議長は職責上（議事整理権）、監査委員の滝澤英明議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。
(文責は、各質問者)

今定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症対応のため、持ち時間を議員1人当たり30分に短縮して行われました。

一般質問に25人が登壇

ふるさと納税について



永田 飛鳳 議員



総務省の公表では、2020年度、ふるさと納税の寄附金額は約6725億円、前年度比1.4倍、寄附件数も約3489万件と過去最高の実績であります。コロナの感染拡大に伴う「巣ごもり需要」を背景に各地の返礼品を押し込む方が増えているようです。そんな状況の中、本市のふるさと納税はどのような状況か。寄附金額と件数の推移と併せて、寄附として入ってくる金額だけでなく、春日部の方が、他自治体へふるさと納税をして、逆に寄附控除による市税の減収額および、その市税を地方交付税で補填しています。が補填額を伺います。

○財務部長
各年度の決算の寄附件数、寄附金額は、29年度3194件、1億922万8千円、30年度995件、1868万5400円、元年度1502件、2428万6千円、2年度2

628件、3787万1350円、3年度は7月末時点で321件、600万円です。

ふるさと納税による市民税控除額および地方交付税による補填額は、減収額の75%相当です。推計では、29年度市民税控除額約1億2100万円、補填額約9100万円、30年度市民税控除額約1億7千万円、補填額約1億2700万円、元年度市民税控除額約2億3400万円、補填額約1億7500万円、2年度市民税控除額約2億3900万円、補填額約1億7900万円です。

市政運営について



鬼丸 裕史 議員



春日部市では、人々から選ばれるまちを目指して、数々の事業を推進してきました。事業を進めるにも健全な財政運営も求められます。そこで以下伺います。

① 近年における人口動態
② 財政調整基金や基金の状況
③ 春日部市をさらなる発展に

導くための市長の考え

○総合政策部長

①平成29年10月1日時点の総人口は23万5991人、令和2年10月1日時点が23万3558人で、約2400人の減となっております。内訳として、自然動態は約3160人の減で全国的な傾向と同様ですが、社会動態は727人の増で生産年齢人口が増加している状況となっております。

○財務部長

②令和2年度末の現在高は、財政調整基金が約32.6億円、基金全体では約98.8億円となっております。

○市長

③日本一幸せに暮らせるまちを目指し、強い決意を持って数々の事業を着実に実行し、財政の健全化にも努めてきました。その結果、人口についてはビジョンを上回る数値で推移しており、特に転出よりも転入が増加していることは本市の魅力が向上している表れと考えます。引き続き、ワクチン接種等の新型コロナウイルス感染症への対応を積極的に進めるとともに、大きく動き始めている未来に向けたまちづくり事業の着実な推進に全力で取り組んでいきます。

**新型コロナウイルス
ワクチン接種について**



山崎 進
議員

春日部市では、新型コロナウイルスウィルス感染症の収束の鍵を握る有効手段となる、ワクチン接種に全力で取り組んでいます。そこで、以下伺います。

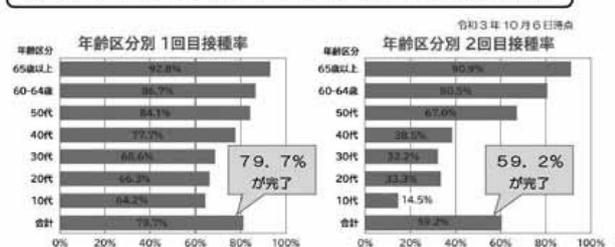
①ワクチンの接種スピードについて②菅首相より、「10月から11月の早い時期に、ワクチン接種の完了を目指す」との発言があったが、今後の見通しについて③新型コロナウイルススに対する石川市長の考えについて。

○健康保険部長
①本市の接種率は、国・県とほぼ同水準であり、県内の人口10万人以上の22市の中でも上位に位置しています。

②9月のワクチン供給量が回復したことを受け、接種スピードは加速しています。よって、国が示すとおり、11月末までに希望者全員に接種できるように進めていきます。

○市長
③ワクチン接種については、

接種対象者のうち、約80%の人が1回接種を終えました



問合せ先 健康課新型コロナウイルスワクチン接種担当 048-738-1111 (内線3672~3674)
ワクチン接種最新情報(令和3年10月6日時点)

市民の皆さまの大切な命を守るため、市の最優先事項として、全庁を挙げた協力体制の下、一丸となって取り組んできたところです。9月8日からは、12歳以上の全市民のワクチン接種受付が開始となり、9月は約7万6千回分のワクチンを確保しています。

今後についても、11月中旬に希望する市民への接種を終え、市民の皆さまが、1日でも早く安心・安全な日常を迎えることができるよう、市医師会および薬剤師会と強力な連携を図り、全力を挙げて取り組んでいきます。

**子ども、若者、高齢者が
憩い楽しめる居場所を**



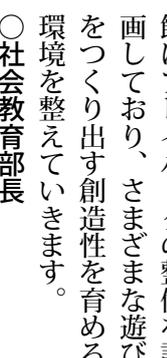
大野とし子
議員

地域の高齢者から「友達と気軽にできるグラウンドゴルフ場が欲しい」との要望が届きました。コロナ禍は人々ととって、集い、笑い合える楽しみの場がどんなに大切かを知らしめました。まちづくりにおいて、人々が憩い楽しめる居場所は大切と考えますが、市の考えを伺います。

子どもたちには、草加市がNPO法人と協働で運営する「冒険松原あそび場」のような創造性を育む遊び場づくりを。若者には、時のスポーツとなったスケートボードができる外郭放水路の多目的広場にあるスケートパークの整備充実を。高齢者には、予約がなくても気軽に使えるグラウンドゴルフ場を望みますが、市の考えを伺います。

○総合政策部長
あらゆる世代に親しまれ、気軽に集える居場所づくりは、まちづくりを進めていく上で

**子どもたちの安心安全な
通学路について**



吉田 稔
議員

子どもたちが日々通う通学路にて、6月に八街市で悲しい事故が起きましたが、春日部市の子どもたちは通学路にて危険な目に遭うことはないのかと感じました。そこで以下伺います。①通学路における安全対策②過去3年間の要望と対応③八街市の事故を受

けて行った緊急点検の結果と対応④街頭防犯カメラを緊急点検の要望箇所へ設置可能か。

○学務指導担当部長
①学校が主体となり、PTAの方々などの協力もいただきながら定期的に通学路の安全点検を実施し、安全対策が必要な場所について速やかに現地確認を行い、関係機関と連携を図りながら歩道の整備などの安全対策を講じています。

②30年度要望64件、対応済40件、元年度要望103件、対応済52件、今後対応予定6件、2年度要望85件、対応済36件、今後対応予定16件です。

③緊急点検の結果、27カ所の通学路で合計41件の要望があります。既に5件の対応を終えています。また、今回の緊急点検における安全対策の要望に関する補正予算を本議会の議案として提出しています。

○市民生活部長
④街頭防犯カメラは、県防犯指針を基に、人けの少ない場所へ犯罪被害に遭う恐れがある危険箇所へ設置しています。そのため、交通安全を目的とした防犯カメラの設置はできませんが、本事業で設置したカメラは、交通安全の一助となっていると考えています。

**国保税均等割の1人1万円
引き下げ、子ども全額免除を**



卯月 武彦
議員

国民健康保険は、所得に關係なく課税される均等割があるため、生活保護水準の収入しかなくても、年間30万円を超える保険税が課されるケースもあります。昨年度決算は、6億8千万円の赤字ですから、均等割を1人1万円引き下げることが可能です。引き下げ

についての考えを伺います。未就学児の均等割は、来年度から半額公費負担となりますが、子どもの均等割4万4100円を全て免除すべきだと思えますがいかがか。少なくとも、就学援助を受けている子どもの均等割は直ちに申請減免すべきですがいかがか。

○健康保険部長

基金や繰越金の活用ですが、今般の国保制度改革の影響で本市の国保財政は従前と比較すると、改善が図られています。一方で被保険者数の減少や1人当たりの医療費の増加、新型コロナウイルス感染症の

影響による国保税収入の減少や医療給付費の動向に注視している状況です。これらに対応するための備えとして、今後の国保財政の収支均衡を保つための財源として柔軟な活用を図ってまいります。

子どもの均等割の全額減免については、現時点では考えていません。

就学援助制度を受けている子どもの保険税の減免は、さまざまな事情があるため、その世帯の状況や担税力の有無などを丁寧にお聞きした上で、制度に基づき判断をしていきたいと考えています。

道路について



榛野 博
議員

市内でも交通事故がまだまだに発生しています。庄和地区東部に位置する市道1-101号線は、生活道路として車だけでなく人の往来も多く交通量は多いが、この道路に対する地域からの要望はどのようなのかが何件あるのか。また、それらに対し、どのよう

コロナ対策について



小久保博史
議員

まだまだ収まらないこのコロナ禍ですが、誰がいつかかってもおかしくない状況が続いています。そのような中、ワクチン接種は順調に進んでおり、市民の安心に対して必死にご尽力いただいている関係者や担当の方々の努力に感謝いたします。

今回伺いたいことは、新型コロナウイルスに感染し、自宅療養となった場合の対応についてはどのようになっているのか。私が市民から聞かれた内容ですが、実はよく分かっていなかったのです。そのほかにも、洗濯はどうしたらよいのか。お風呂はどうしたらよいのか。ごみの捨て方はどうするのか。いろいろな聞かれ、さまざま調べました。確かに、かかってからではなかなか調べるのも大変だと思います。そこで伺いますが、自宅療養の過ごし方について、事前

することはできないでしょうか。

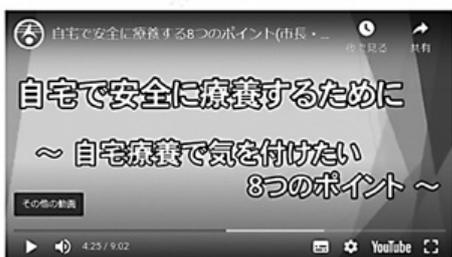
○健康保険部長

自宅療養の過ごし方については、埼玉県において、自宅療養の手引が作成されており、県ホームページにて公表されていますので、事前に内容を確認できるものとなっています。手引には、自宅療養の準備や療養中の過ごし方、療養中の健康管理や療養の終了基準など、自宅療養に際しての必要な事項がまとめられているところですので、この手引については、市の公式ホームページにおいてもご案内しているところですので。

○市民生活部長

春日部警察署に確認したところ、交通規制を実施した場合、付近の住民の通行に制限を設けてしまうことなど、さまざまな影響が生じることから、慎重に行う必要があるとのことですので。交通規制は、交通事故防止の有効な手法の一つですが、生活道路として十分な調査や関係各所と協議した上で慎重な判断が求められるものと考えています。

自宅で安全に療養する8つのポイント(市長・市立医療センター副院長共同メッセージ)



自宅療養で気を付けたい8つのポイント(春日部市 YouTube 動画より)